

TCFD対照表

本対照表は、TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) が推奨する開示項目および当社媒体での該当箇所を示しています。

開示推奨項目	該当箇所	
	サステナビリティレポート2025	ウェブサイトおよび 関連する媒体
【ガバナンス】 気候関連のリスクと機会に関する組織のガバナンスを開示する		
a) 気候関連のリスクおよび機会についての取締役会による監視体制	・コーポレート・ガバナンス P032-039	・有価証券報告書第144期 【コーポレート・ガバナンスの 状況等】
b) 気候関連のリスクおよび機会を評価・管理する上での経営者の役割	・気候変動対応体制 P065	・CDP気候変動2024 (2.2、4.1、4.3)
【戦略】 気候関連のリスクおよび機会が組織の事業、戦略、財務計画に及ぼす実際の影響と潜在的な影響について、その情報が重要な場合は開示する		
a) 組織が識別した、短期・中期・長期の気候関連のリスクおよび機会	・リスクと機会 P066 ・シナリオ分析 P066-068	・住友化学レポート2025 P61-62
b) 気候関連のリスクおよび機会が組織の事業・戦略・財務計画に及ぼす影響		・有価証券報告書第144期 【事業等のリスク】
c) 2℃以下シナリオを含む、さまざまな気候関連シナリオに基づく検討を踏まえた組織戦略のレジリエンス		・CDP気候変動2024 (2.1、2.2、3.1、5.1、5.3)
【リスク管理】 気候関連リスクについて、組織がどのように特定・評価・マネジメントするのかを開示する		
a) 組織が気候関連リスクを識別・評価するプロセス	・気候変動対応体制 P065	・住友化学レポート2025 P61-62
b) 組織が気候関連リスクをマネジメントするプロセス	・リスクと機会 P066 ・シナリオ分析 P066-068	・CDP気候変動2024 (2.2)
c) 組織が気候関連リスクを特定・評価・マネジメントするプロセスが組織の総合的リスク管理にどのように統合されているか		

開示推奨項目	該当箇所	
	サステナビリティレポート2025	ウェブサイトおよび 関連する媒体
【指標と目標】 気候関連のリスクおよび機会を評価・マネジメントするために使用される指標と目標について、その情報が重要な場合は開示する		
a) 組織が、自らの戦略とリスクマネジメントに即して、気候関連のリスクおよび機会を評価する際に用いる指標	・カーボンニュートラル実現に向けたグランドデザイン P064 ・GHG排出量の推移と削減目標 (Scope1+2) P068	・住友化学レポート2025 P65
「産業横断的な気候関連指標カテゴリ」(2021年10月改訂)		
GHG排出量	Scope1、2、3の絶対・原単位GHG排出量	・GHG排出量の推移と削減目標 (Scope1+2、Scope3) P068-070
移行リスク	移行リスクに対して脆弱資産または事業活動の量の範囲	・リスクと機会 P066 ・シナリオ分析 P066-068
物理的リスク	物理的リスクに対して脆弱資産または事業活動の量の範囲	・リスクと機会 P066 ・シナリオ分析 P066-068
気候関連の機会	気候関連の機会に伴う収益、資産、またはその他の事業活動の割合	・シナリオ分析 P066-068
資本展開	気候関連のリスクと機会に向けて展開された設備投資、資金調達、または投資の金額	・カーボンニュートラル実現に向けた投資 P066 ・投資規模 P066
内部炭素価格	組織が内部で使用するGHG排出量1トンあたりの価格	・カーボンニュートラル実現に向けた投資 P066
報酬	気候変動への配慮に関連する経営幹部の報酬の割合	・役員報酬 P036
b) Scope1、2および当てはまる場合はScope3の温室効果ガス(GHG) 排出量と、その関連するリスクの開示	・エネルギー消費量および温室効果ガス排出量 (Scope1、2、3) P069 P070 ・シナリオ分析 P066-068	・住友化学レポート2025 P63 P65 ・CDP気候変動2024 (7.6、7.7、7.8)
c) 気候関連のリスクと機会をマネジメントするために組織が使用する目標、及び目標に対する実績についての説明	・指標と目標 (リスク) P068-070 ・指標と目標 (機会) P071 ・「責務」に対する具体的な取り組み P072-074 ・「貢献」に対する具体的な取り組み P075	・住友化学レポート2025 P65-66 ・CDP気候変動2024 (7.10)